



2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

2025年12月1日

アイエックス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



目次

1. 当社を取り巻く環境と業績概要
2. 2026年3月期 中間期 業績
3. 今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

2. 2026年3月期 中間期 業績

3. 今後の取組み

トピックス

2026年3月期 中間期

4月	<ul style="list-style-type: none">・新入社員82名入社・サステナビリティ推進委員会設置・情報通信事業会社様1社、情報システム会社様1社からパートナー認定
5月	<ul style="list-style-type: none">・保険会社様1社から感謝状・情報システム会社様1社から表彰・ITベンダー様1社からパートナー認定
6月	<ul style="list-style-type: none">・代表取締役社長に犬飼博文が就任し新経営体制が発足・情報システム会社様1社からパートナー認定・情報システム会社様1社から表彰
8月	<ul style="list-style-type: none">・元相談役（株式会社アイエックス創業者）安藤多喜夫「お別れの会」開催・ISTQB「Platinum Partner」認定・取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分

- 社会貢献活動「ロボット&プログラム体験教室」開催（上期3回開催）
- 東京ベイお台場クリーンアップ大作戦参加（上期2回参加）

2026年3月期 中間期 業績概要（1）

【売上高】12,354百万円（前年同期比11.2%増）

システム開発案件や、システム運用、基盤・環境構築案件の受注拡大により増収

● 売上への影響要因

■ システム開発売上増加（↑）

- ✓ 金融機関や通信事業者向けシステム開発案件が拡大

■ システム運用、基盤・環境構築売上増加（↑）

- ✓ 社会公共分野の基盤・環境構築案件が増加

2026年3月期 中間期 業績概要 (2)

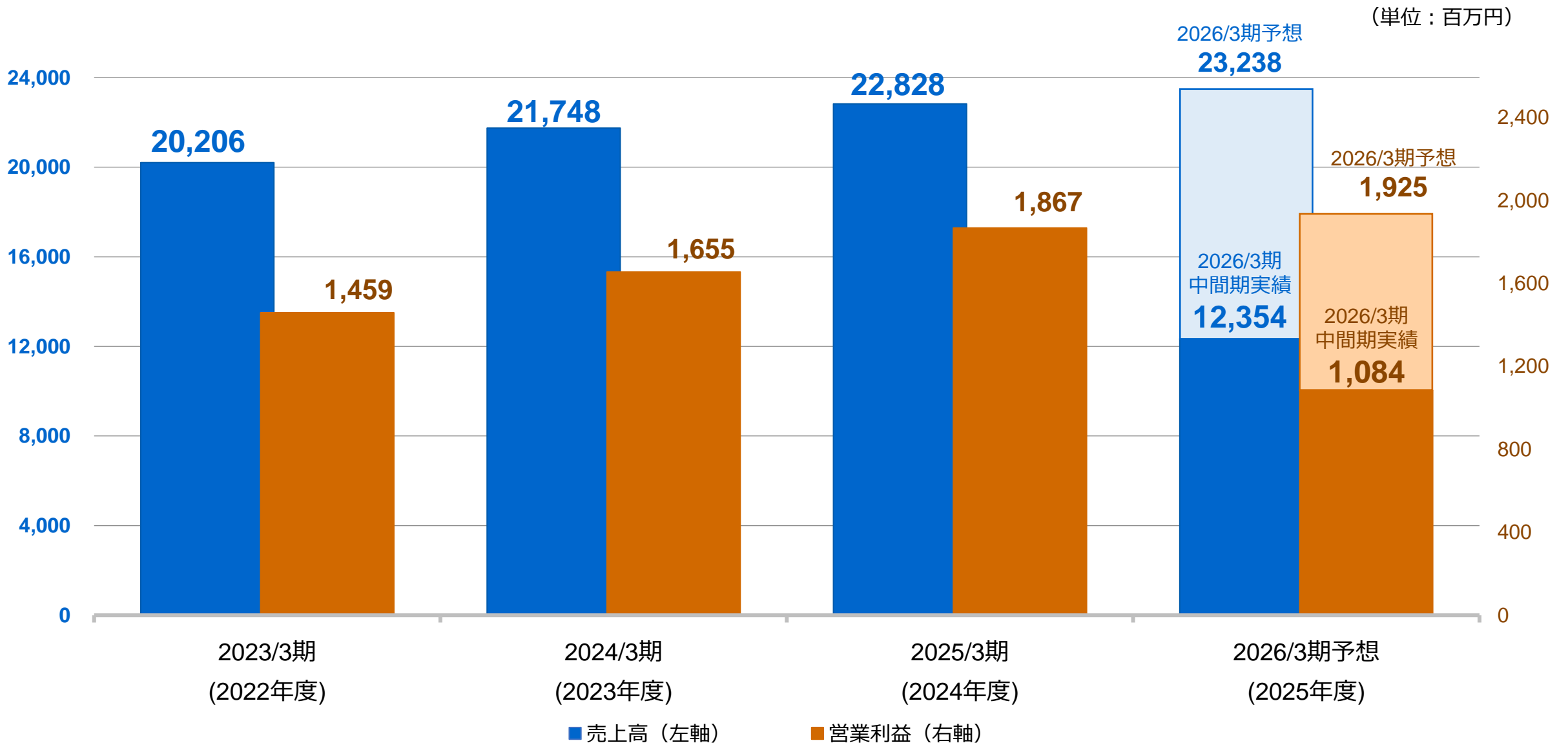
【営業利益】1,084百万円（前年同期比15.9%増）

技術者単価向上による売上高の増加に加え、継続的な販管費の抑制により増益

● 営業利益への影響要因

- ✓ 技術者単価向上による売上高増加
- ✓ プロジェクトモニタリング強化による適正な原価管理
- ✓ 戦略的な投資による販管費の抑制
- ✓ 資産除去債務の見直しによる利益減

売上高・営業利益推移



2. 2026年3月期 中間期 業績

1. 当社を取り巻く環境と業績概要
2. 2026年3月期 中間期 業績
3. 今後の取組み

2026年3月期 中間期 経営成績

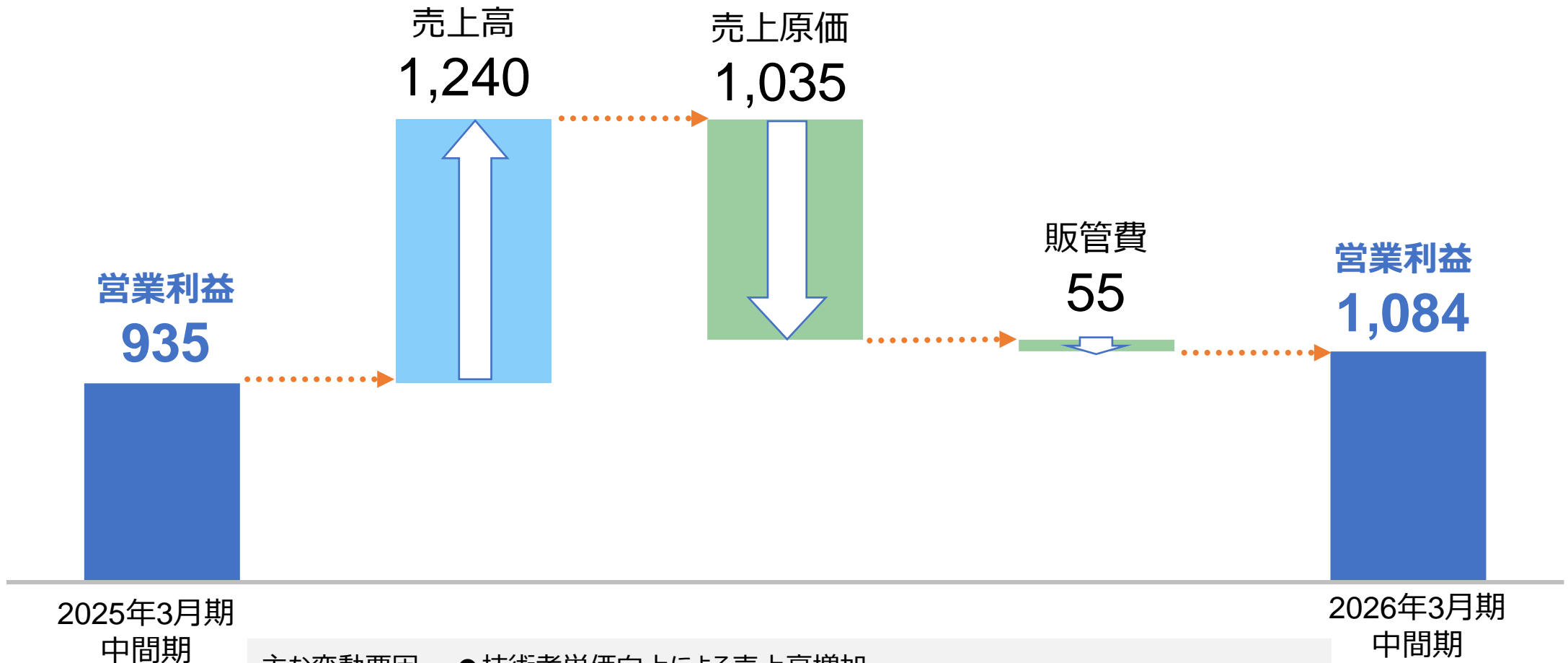
(単位：百万円)

	2026/3月期 中間期	2025/3月期 中間期	増減額	増減率
売上高	12,354	11,114	1,240	11.2%
売上原価	9,860	8,824	1,035	11.7%
売上総利益	2,494	2,290	204	8.9%
売上総利益率	20.2%	20.6%	—	—
販売費及び一般管理費	1,409	1,354	55	4.1%
営業利益	1,084	935	149	15.9%
経常利益	1,145	980	164	16.7%
親会社株主に帰属する中間純利益	823※1	667	155	23.3%

※1：特別利益として固定資産売却益（57百万円）を計上しております。

営業利益の変動要因

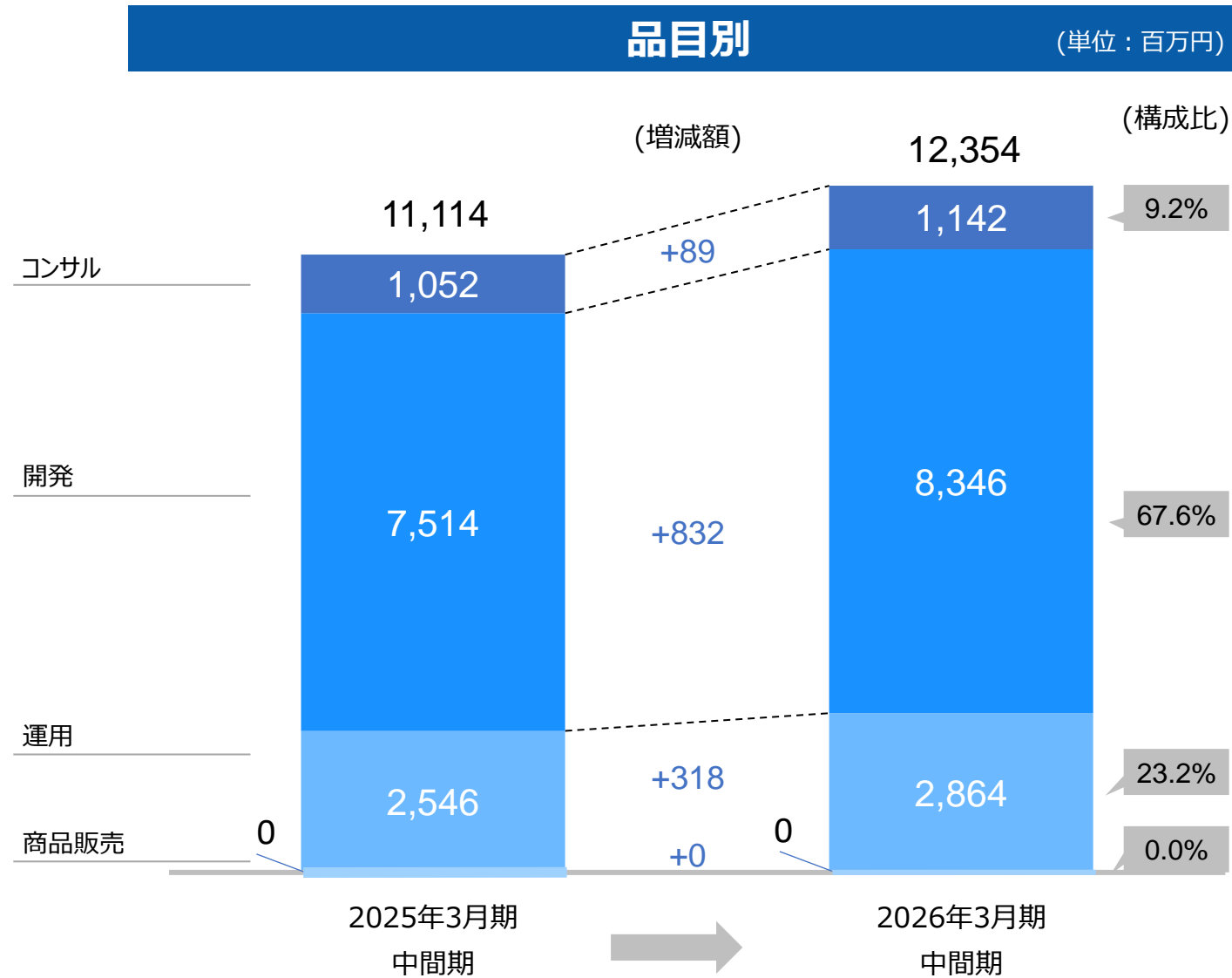
(単位：百万円)



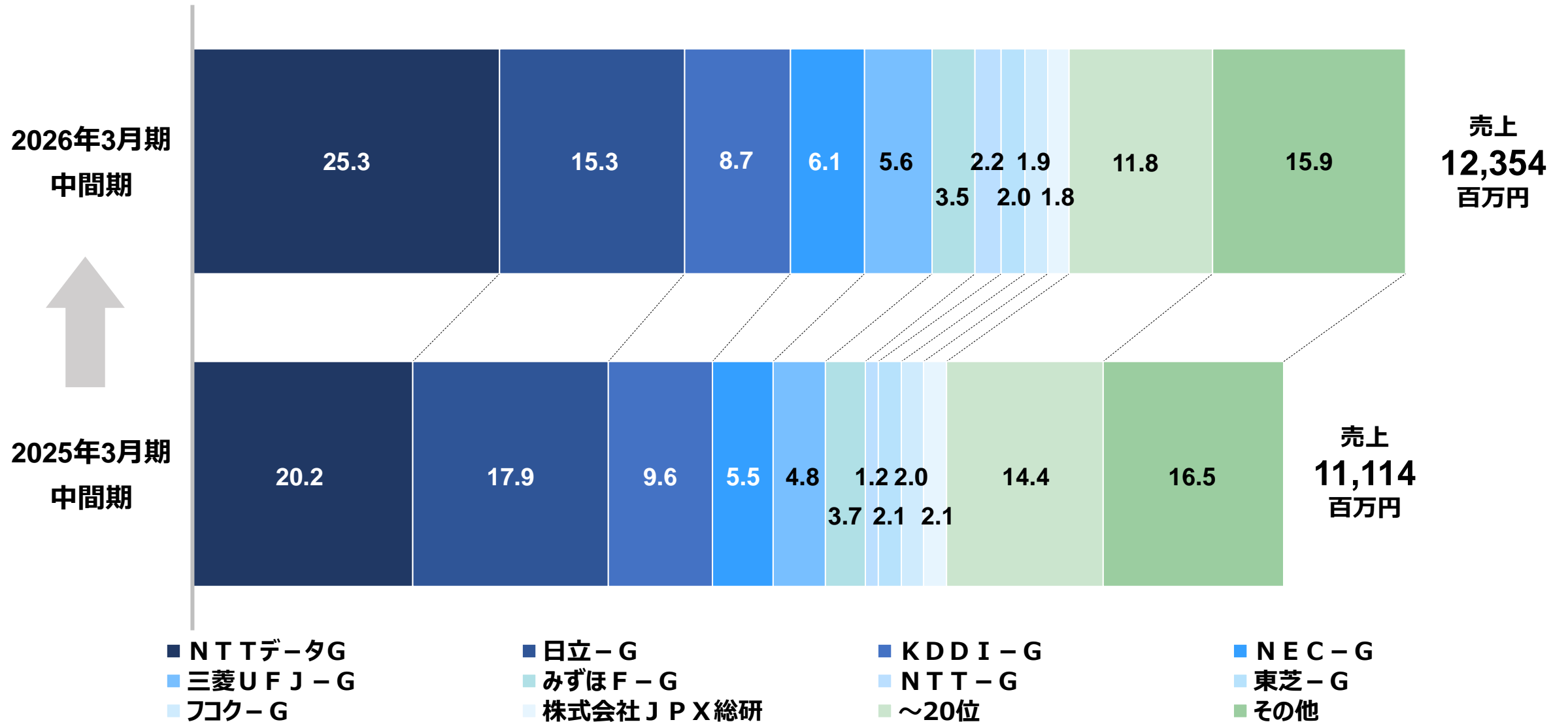
主な変動要因

- 技術者単価向上による売上高増加
- プロジェクトモニタリング強化による適正な原価管理
- 戦略的な投資による販管費の抑制
- 資産除去債務の見直しによる利益減

品目別売上構成



契約先顧客グループ別売上構成

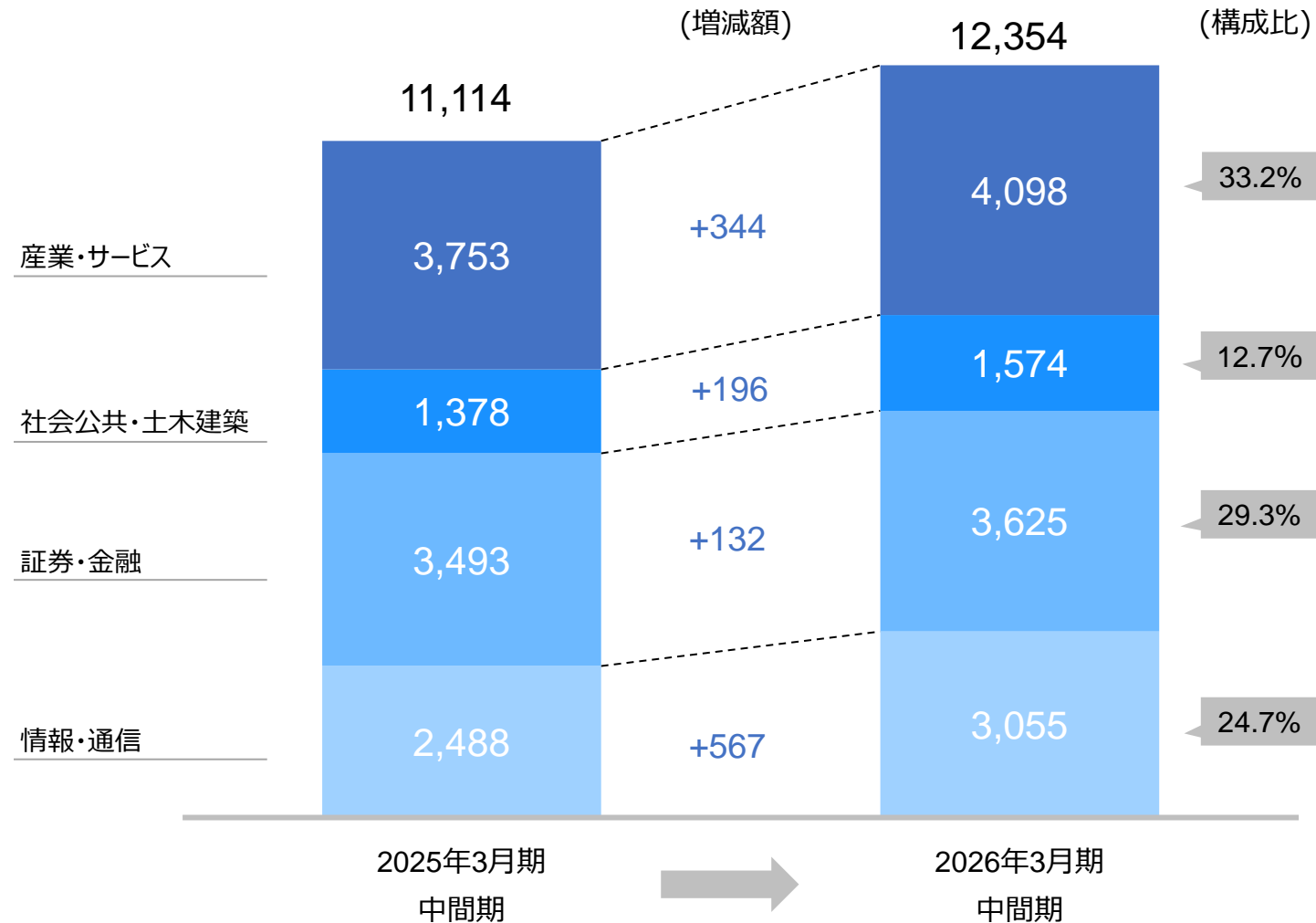


※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合(%)を表しています

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別

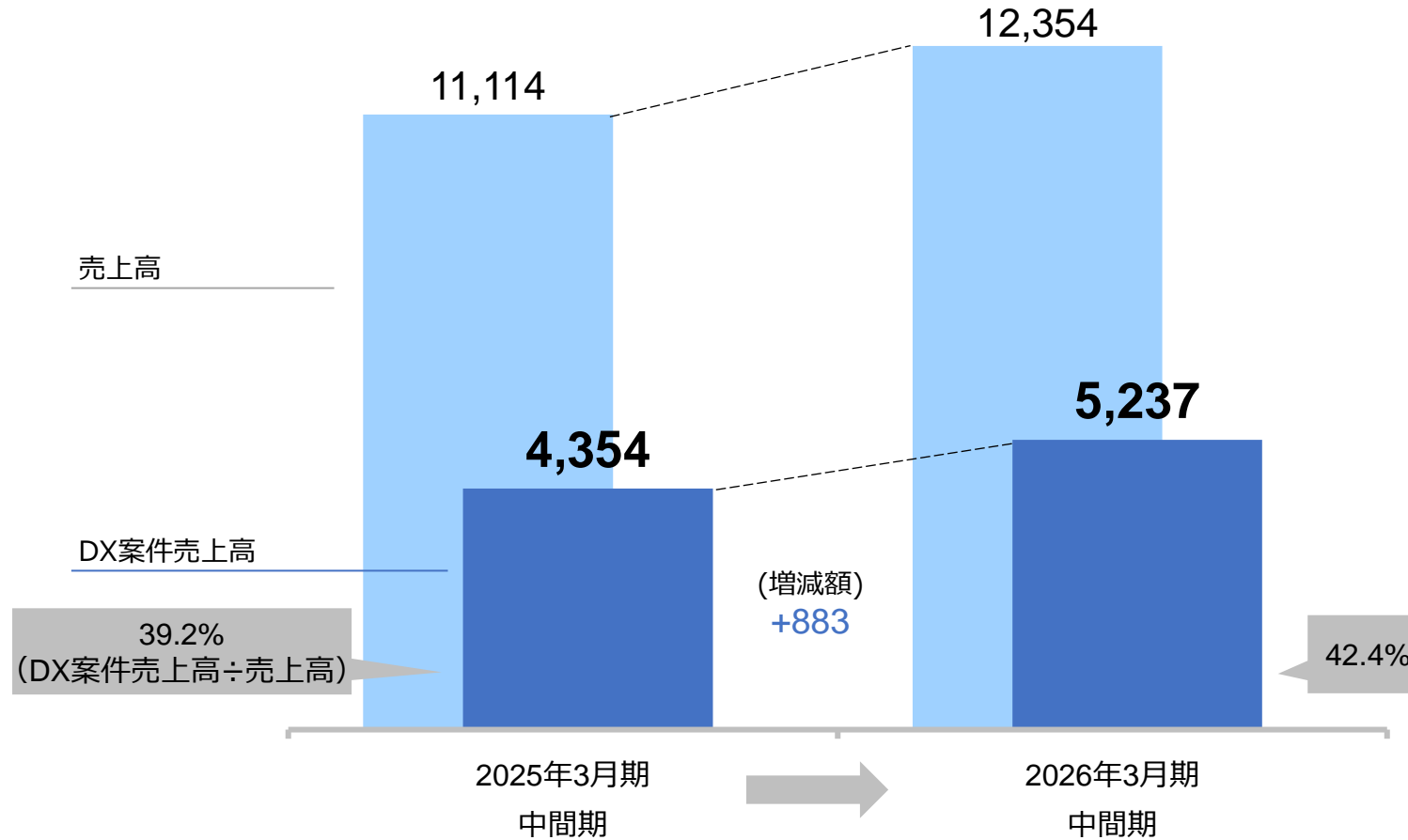
(単位：百万円)



DX案件売上高

売上高におけるDX案件売上高

(単位：百万円)



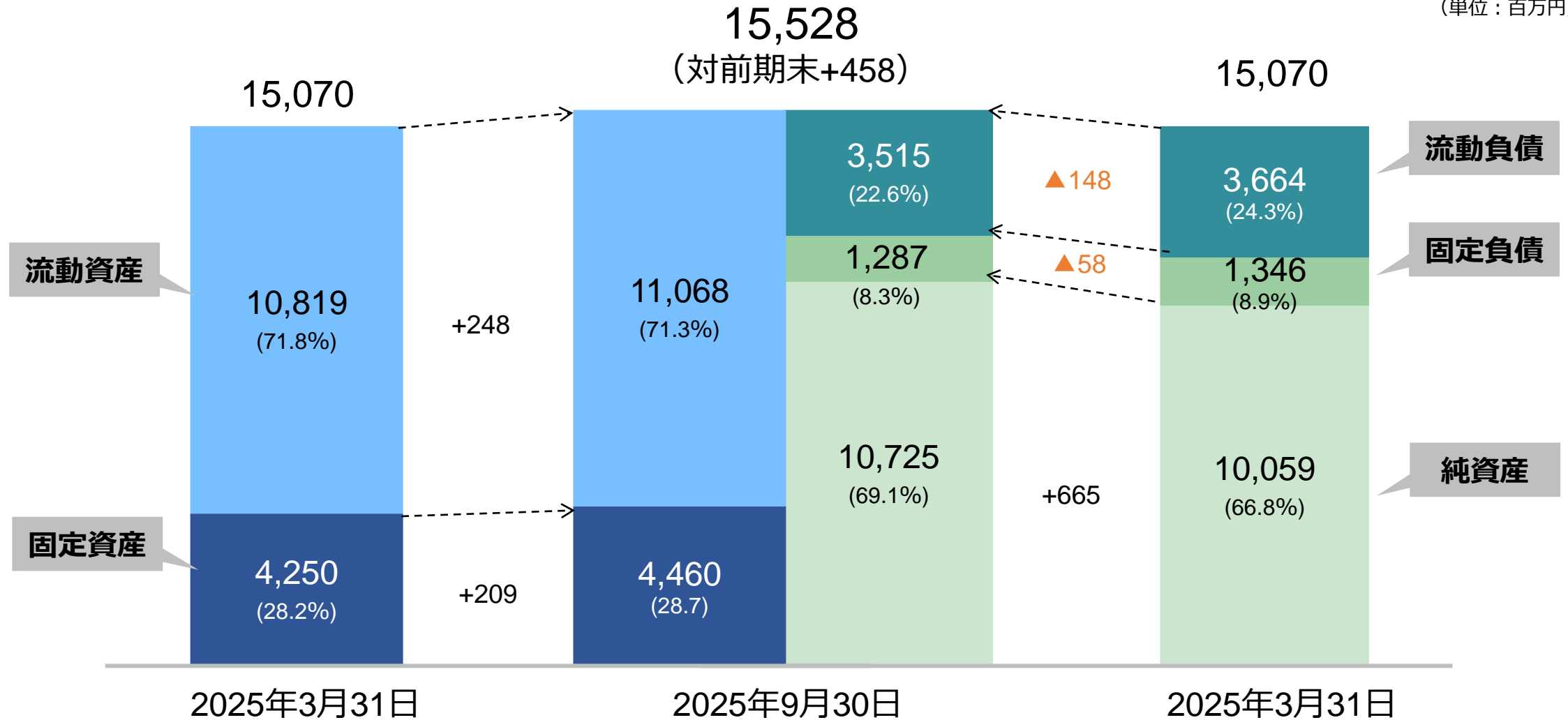
※DX案件は、アジャイル開発等のデジタル化を牽引する要素技術、クラウド構築等のDX化のベーシック開発、AIやデータ分析等のDX化のハンドリング開発の3つの切り口で抽出しております。

貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

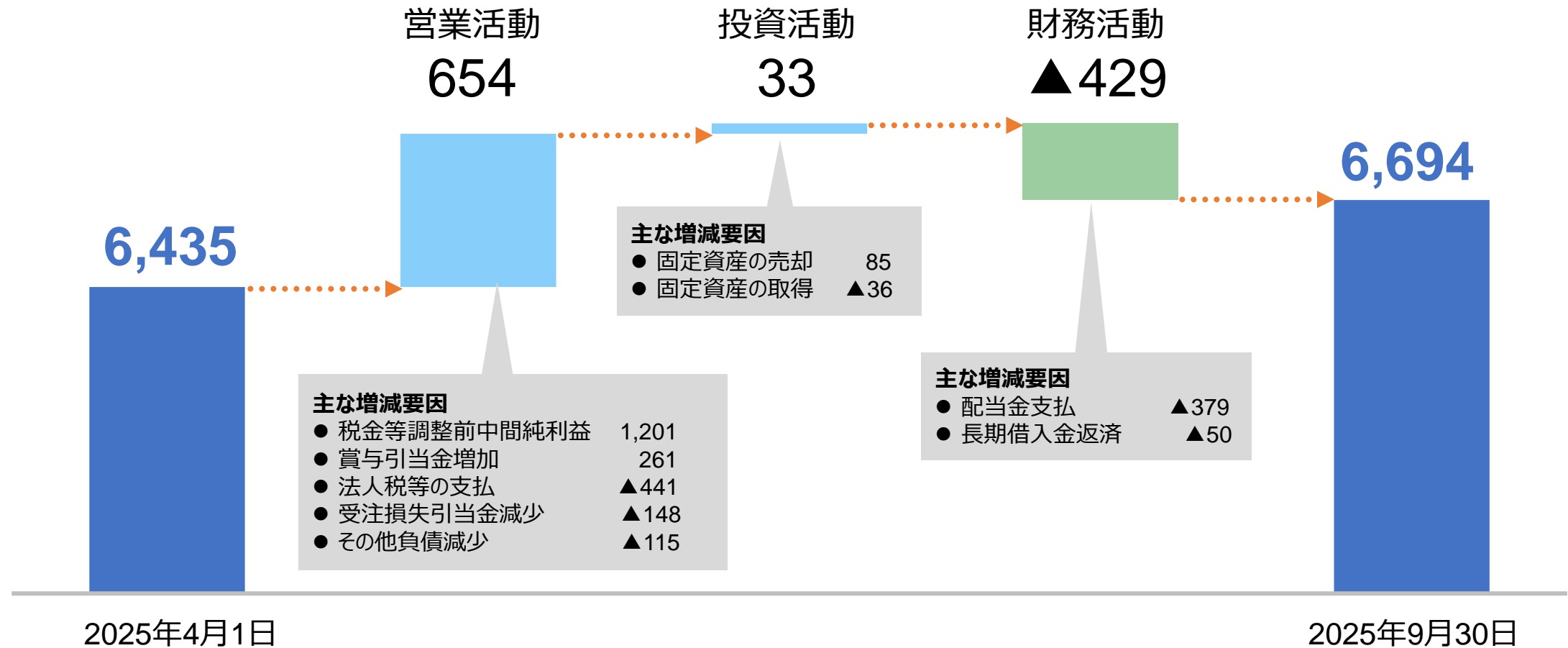
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2025年4月1日～2025年9月30日

(単位：百万円)



3. 今後の取組み

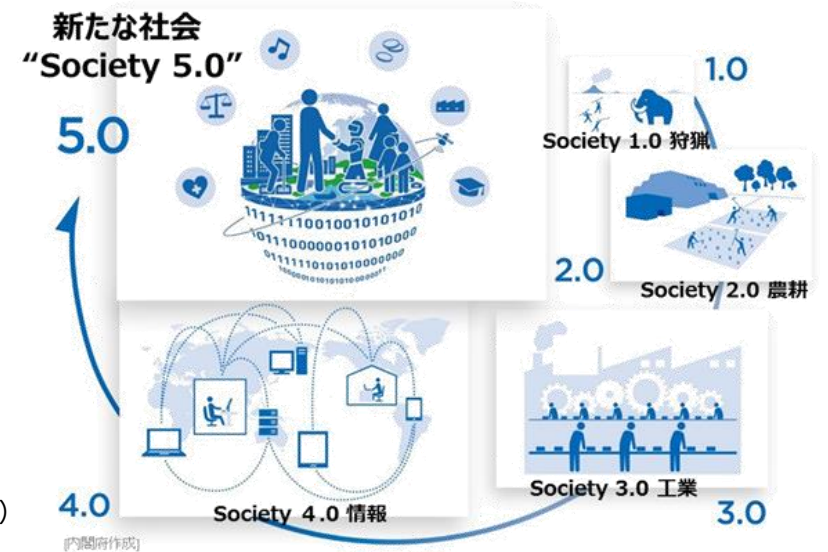
1. 当社を取り巻く環境と業績概要
2. 2026年3月期 中間期 業績
3. 今後の取組み

市場環境

情報化社会（4.0）からSociety5.0の社会へ

- ✓ 予測困難（VUCA）で急激な社会の変化
- ✓ クラウド、AI、IoT等、進化する技術によるDXの進展

出典：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



社会変化への対応



技術進化への対応

企業のDX・クラウドやAI等へのIT投資

当社グループの取り組み ～グループパーパス～

社会とITの未来をともにつなぐ
 “Connecting people one world”

～パーパスに込めた思い～

IKIグループは、共創によりITと社会を繋ぎ、豊かな未来を創造します

～バリュー～

「技術力」 お客様の要求にこたえる技術力を備え、社会に貢献する

「顧客満足」 お客様の期待を超える喜びを提供する

「持続的社会」 社会的課題を自分事として持続可能な社会に貢献する

「健康経営」 誰もがイキイキと成長、活躍できる環境を築く



グループ一丸となった継続的な成長

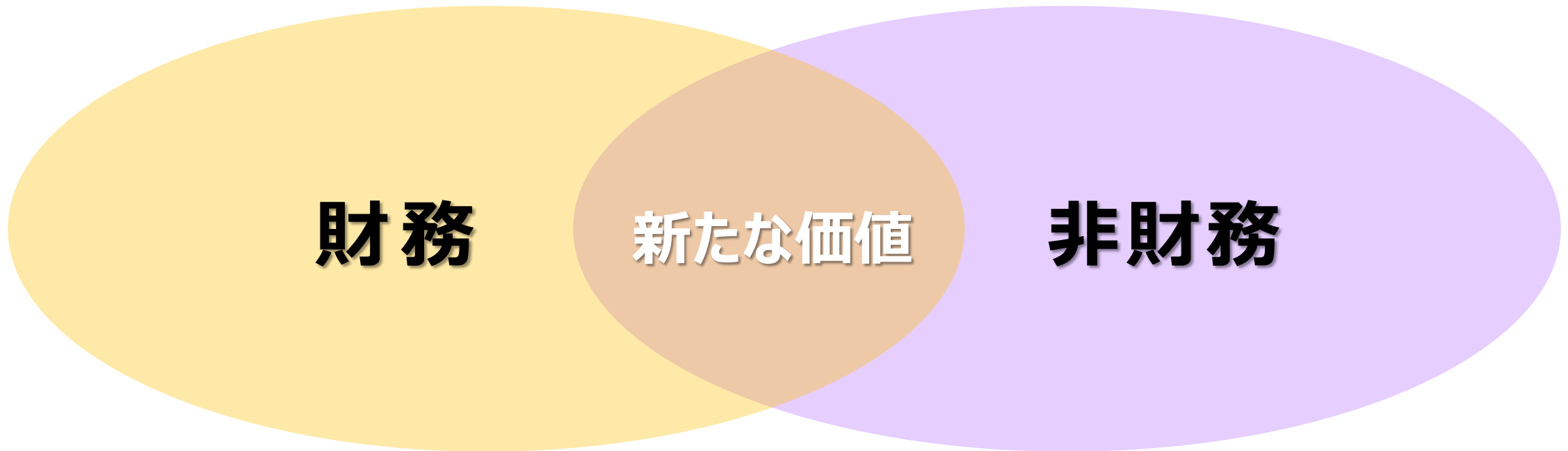
当社グループの取り組み ～中期経営計画～

【中期経営方針】

- ① 中核事業の拡大
- ② 次期成長事業の創出
- ③ 事業基盤の強化

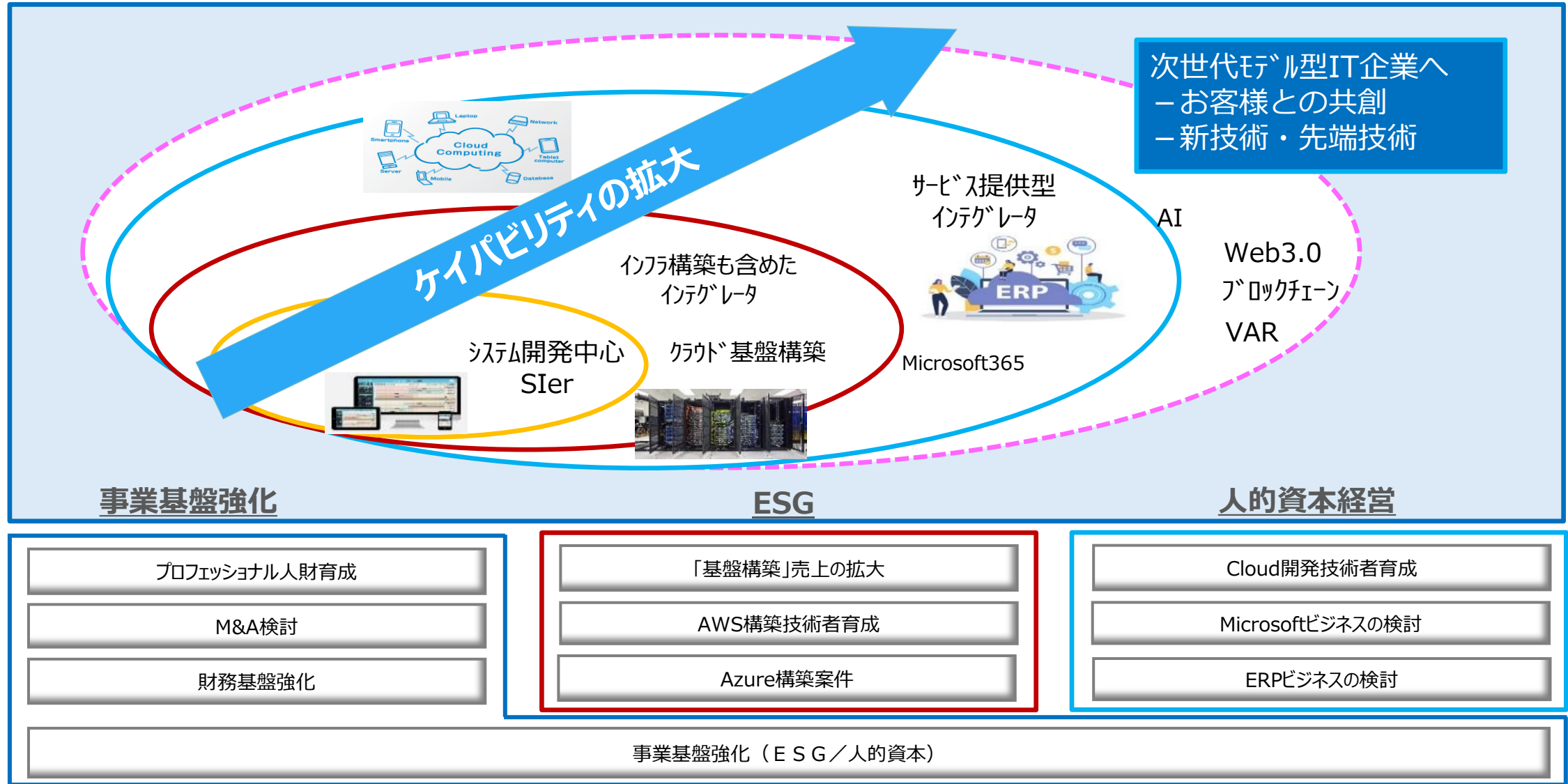
中期経営計画で目指すもの <財務・非財務の戦略一元化>

財務と非財務の戦略一元化



企業価値向上(サステナビリティ経営)

中期経営計画で目指すもの <ケイパビリティの拡大>



出典：イラストAC

中期経営計画で目指すもの <IKIグループのケイパビリティ>

IKIグループのケイパビリティ

お客様

共創 & DX

<IKIグループ>

アイエックス・ナレッジ
グループ会社（C&Aコンピューター）

IKIグループ関連会社
（HISホールディングス）

パートナー企業

中期経営計画で目指すもの <サステナビリティ経営>

【グループパーパス】社会とITの未来をともにつなぐ

企業理念 + 行動指針

中期経営計画

サステナビリティ経営

ESG 基本方針

グローバル基準での環境対策 (E)

多様性を重視した社会への貢献 (S)

ガバナンスを重視した経営 (G)

人的資本 人財戦略方針

プロフェッショナル人財育成・リスクリング

ダイバーシティ&インクルージョン推進

エンゲージメント&職場環境向上

今後の取組み <中期経営計画への対応>

No	取組みポイント	主な取組み内容
1	営業体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動、提案型営業による攻めの営業体制構築 ・戦略的営業活動の実施（クロスセル強化、営業KPIの計画化） ・顧客ファースト意識醸成、営業数値への責任によるマインド強化 ・IKIグループとしての営業連携（顧客深耕、横展開）
2	開発体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトモニタリング、原価管理徹底 ・開発要員の戦略的な適正稼働率維持 ・顧客ニーズの現場収集、DX化案件への技術力強化
3	案件対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー対応力のアセスメントと重点対応分野の明確化 ・子会社との案件情報、リソース連携 ・新技術に対応した人財育成
4	DX化対応	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド構築とクラウド開発への対応、クラウドベースサービスへの対応 ・DX案件獲得と人材育成によるDX関連ビジネス拡大 ・次期成長へのビジネスイノベーション、共創によるビジネス検討
5	事業基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・グループパーパスの浸透を図り、グループ企業文化醸成 ・グループ全体でのコンプライアンス意識再徹底 ・PM育成、プロフェッショナル人財育成 ・新卒採用と継続的な中途採用による技術者確保 ・デジタル化投資、DX基盤の整備 ・成長のスピードアップとケーパビリティ拡大（事業提携・M&A）

2026年3月期 業績予想

(単位：百万円)

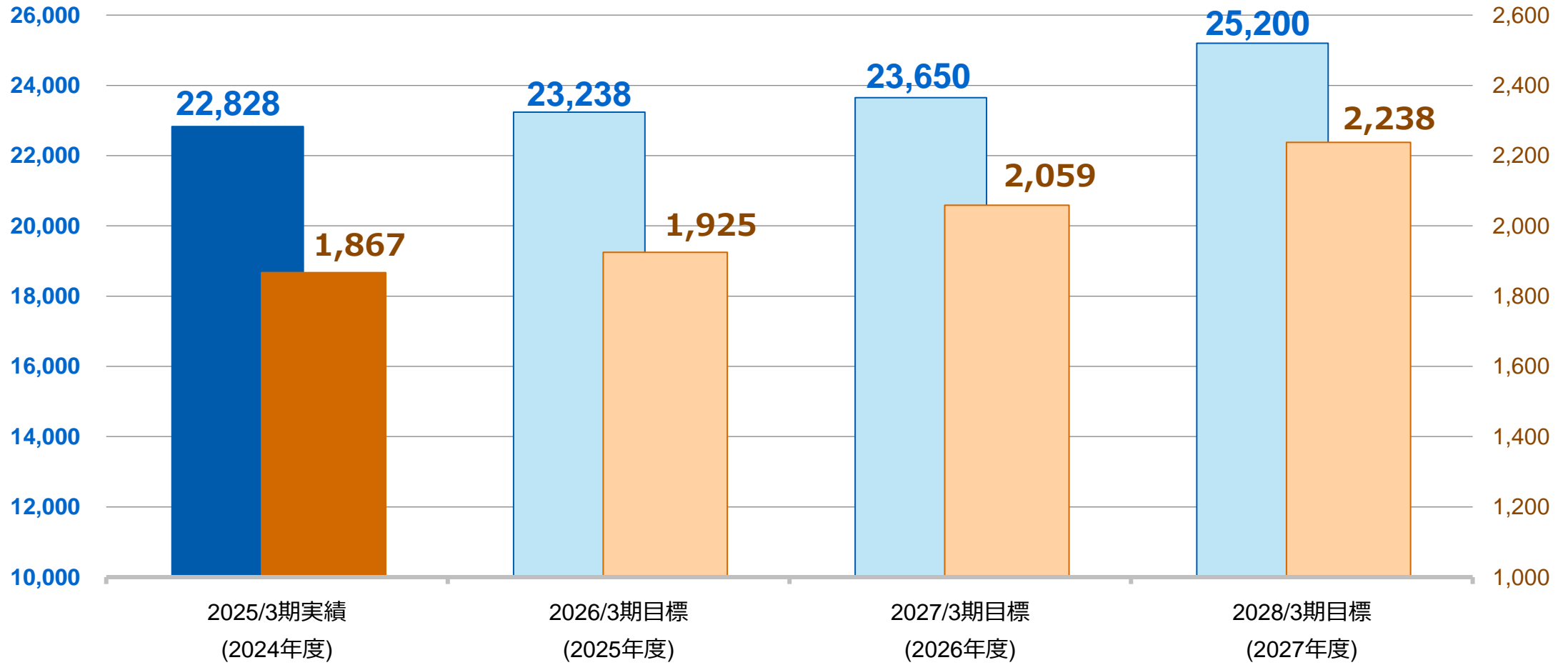
	2026年3月期 予想	2025年3月期 実績	増減率
売上高	23,238	22,828	1.8%
売上原価	18,358	18,279	0.4%
売上総利益	4,880	4,548	7.3%
売上総利益率	21.0%	19.9%	—
販売費及び一般管理費	2,955	2,681	10.2%
営業利益	1,925	1,867	3.1%
経常利益	1,987	1,950	1.9%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1,366	1,326	3.0%
配当金	40円	40円※1	—

※1：2025年3月期配当金は普通配当35円、誕生25周年記念配当5円で合計40円です。

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

中期業績目標

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸)

■ 営業利益 (右軸)

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。



IX Knowledge Inc.

「社会とITの未来をともにつなぐ」

“Connecting people one world”

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>